

平成 30 年度 政務活動による議員研修報告書

財政課長、財政部長経験者が語る「財政の質問のポイント」

江津市議会議員 田中利徳

1、日時 平成 30 年 10 月 31 日（水） 10 時～12 時 30 分

2、会場 東京都中央区京橋 1-7-1 戸田ビルディング

TKP 東京八重洲カンファレンスセンター

3、講師 程 岡 俊 和 氏

【講師の経歴】

1974 年：大阪府寝屋川市役所入庁 2007 年：企画財政部長兼財政課長
2010 年：経営企画部長 2011 年：人・ふれあい部長
2012 年：財務部長 2013 年：理事兼財務部長
2014 年：会計管理者（理事待遇）
2016 年：保健福祉公社常務理事兼事務局長
2018 年：保険福祉公社清算人福祉総務課課長

4、講座 議員が知っておくべき財政の話 基礎編 1

(1) 財政の基本的知識と用語の解説

①財務の意義：収入、予算、決算、契約、財産等に関する事務の総称

②財務の組織：議会・地方公共団体の長、出納機関、監査委員会

(2) 予算の種類・内容

①予算：一般に一定期間内における収入と支出の見積もり又は計画

②予算の原則

・ 6 つの予算の原則：総計予算主義の原則、単一予算主義の原則

予算統一の原則、予算事前議決の原則

会計年度独立の原則、予算公開の原則

(3) 歳入・歳出、科目別予算のあらまし

【予算の内容は次の7事項である】

- ①歳入歳出予算 ②継続費 ③繰越明許費 ④債務負担行為
- ⑤地方債 ⑥一時借入金 ⑦歳出予算の各項の経費の金額の流用

(4) 役所の予算編成から決算まで

- ①当初予算 ②補正予算 ③決算

(5) 自治体の健康度を把握

- ①決算カード
- ②収支の均衡を表す指標
 - ・形式収支 ・実質収支 ・単年度収支 ・実質単年度収支
 - ・経常収支比率
- ③健全化指標について
 - ・健全化法とは
- ④事業の着眼点と事業の評価方法

【感想】

この度は、大阪府寝屋川市で財政課長、財政部長を経験された程岡俊和氏から財政の基礎を学ぶことができ、基礎用語から執行部としての裏話まで幅広くお話しいただき、大変有意義な研修となりました。今後は、更に研鑽を積み、市財政のチェック機能を発揮していきたい。

報 告 書

江津市議会議員 田中利徳

- 1、日 時 平成 30 年 11 月 1 日（木） 10：00～11：30
- 2、出張先 一般社団法人 学習評価研究所 所長 松浦三郎
東京都渋谷区恵比寿西 2 - 3 - 14

【学習評価研究所】 ホームページ：挨拶より（抜粋）

1986 年、民間の小さな教育研究機関が UCLA・ISOP 担当部長 J, N, Hawkins 教授、UCLA 教育評価研究所 E, L, Baker 教授、USC 認知科学研究所 H, N, O' Neil Jr 教授らの協力を得て、学習評価研究所を設立し活動を開始しました。

これまで、国際教育セミナー開催、公開座談会・夏期学校企画運営、ジャーナル発行、書籍出版、内外の学校視察調査、研修会開催、共同調査・研究開発などを通じて、教育現場で活動する教職員のみなさまに、ホットな情報を発信してきました。特に「教育測定学第 3 版」の翻訳出版は、学校教育における評価議論の輪を確実に広げてくれたように思います。また 2005 年からは「リーダー力をどう育てるか」をテーマに、多くの学校教職員のみなさまと議論を重ね、その内容を毎日新聞紙面を通して発信してきました。

今、私たちは地球規模で起こるさまざまな問題を前に途方に暮れています。

そして東日本大震災や原発事故は過去の延長線上に未来は描けないことを教えてくれました。

子どもたちを取り囲む環境が刻々と変化する中で、私たち自身のパラダイムシフトも必要です。

これまでの活動をさらに飛躍させて領域を拡大し、新しい可能性を探し出したいと考えています。

限られた成功事例を、小さな学校や教員個人に閉じるのではなく、多くの仲間と情報を共有し、広く他校や社会とつながり、学び合い、高め合っていくことが必要だと感じています。学習評価研究所を多くのみなさまの集う交流の場として、機能させたいと考えています。活用いただければ幸いです。

未来を担う子どもたちの教育は、大人たちすべての責任です。これからも小さな一歩ではあっても、確実に前進していきたいと思えます。

【意見交換について】

松浦三郎氏とは、隠岐島前高校勤務時の平成 19 年 7 月に京都一燈園学園の夏期講座で出会って以来の付き合いである。江津高校勤務時の平成 21 年 7 月には、関東・関西の有名私立中学校高等学校の教諭を招聘しての「第 1 回夏期講座：学力人間力向上セミナー」を開催し、その後も江津高校でのキャリア教育講演会にも、著名な講師の方をお世話頂いている。本年 10 月には、島根県立隠岐島前高等学校を訪問しておられた。

この度は、最近の教育情勢についての意見交換を行った。その中で、江津市の英語教育を核とした学力向上策や江津市の中学校・高等学校の生徒を対象とした夏期講座開催の可能性等について、具体的に話し合った。

最近の教育情勢について、隠岐島前高校視察後の私への手紙で、松浦三郎氏は以下のように述べられている。

新学習指導要領に基づく教育実践は 2020 年から始まる。日本中の学校が競って、グローバル化社会や高度情報化社会で活躍できる人材育成に走り出した。国家の産業政策に踊らされ、「産業教育」の御旗に群れながら、他校の動きをうかがっている。どこかに話題の教育実践があれば、彼らは間違いなく飛びつく。多様性が価値を生む時代の中で、残念ながら教育実践の画一化が再び起こるだろうと予想している。日々に忙殺され、現場の教師には創造力を生む時間もない。都会では教育産業が賑わい、教師も保護者も英語教育やプログラミング教育に翻弄されている。国は 2020 年の教育改革から、教育サービスを低下させ、民間機関に事業参加を促している。2019 年に開校する大阪市立水渡国際中学校・高等学校は YMCA が運営する公設民営方式だ。また、文科省は「日本型教育の海外展開」として、日本型教育をパッケージで輸出すると言う。こうした流れの中で、「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」を教育産業として再評価してみると面白いかもしれない。

- ・江津市の英語教育を核とした学力向上策については、都会の私立中高一貫校を中心に研究が急速に進んでいる現状がある。江津で実践できる授業を展開している学校の教員を紹介するので、授業参観を取り入れた教員研修会を開催することを提案された。
- ・江津市の中学校・高等学校の生徒を対象とした夏期講座開催の可能性等については、現在、以前江津高校で開催していた、関東関西の私立中高一貫校の教員を講師としての「夏期講座」を、松江市の開星高校で実施しているので、松江からの交通費と宿泊ができるなら、江津でも開催はできるとのことでした。

報 告 書

江津市議会議員 田中利徳

- 1、日時 平成 30 年 11 月 1 日（木） 13：00～16：00
- 2、出張先 新宿日本語学校（東京都新宿区高田馬場 2－9－7）

【新宿日本語学校】

新宿日本語学校（SNG）は、1975 年に設立された東京都知事認可の各種学校で、文部科学大臣指定準備教育課程のある学校法人立の日本語学校である。

現在は、50 カ国以上、500 名前後の学生が日本語を勉強している。

学校では、視覚的に覚えられる学習方法、江副式教授法を開発し、その可視化した教授法を利用して NTT コミュニケーションズ株式会社と Visual Learning Japanese というソフトを共同開発した。そのソフトを使ったブレンド学習により、学生は場所を選ばず、学習を続けることができ、日本語の基礎をより早く学ぶことができている。

また、学校は東京の学生街の高田馬場に位置し、様々な鉄道が高田馬場駅に乗り入れ、多くのバスなども通っているため、学校には簡単にアクセスすることができる。

この学校とは、私が隠岐島前高校勤務時（平成 19 年）に新宿日本語学校が、隠岐海士町で外国人留学生の学習合宿を実施して以来の付き合いであり、平成 27 年には、本市総務文教委員会も視察を行っている。

3、視察について

①ベトナム人クラスの授業参観、

ベトナムからは、国費による留学生も居り、「寝る間も惜しんで熱心に勉学に励む姿が見られる」と校長の言われるとおり、授業の対する意欲的な取組がクラス中に溢れていた。日本の学生も見習うべき姿と感心した。

②江副隆秀校長、江副ジュエル副校長、森京子副校長と「江津市の英語教育」について協議した。

協議内容については、外国人に日本語を指導することは、日本語指導の指導方法にも好影響を与えることになり、国語教育についての研究にも取り組んでいて「江副式国語指導法」は特別支援学校や小学校の国語指導にも取り入れられている。

また、江津市へ外国人留学生 20 名程度の引率も可能であり、本市の学校訪問や県立少年自然の家での小中学校生を対象としたイングリッシュキャンプの開催も考えられる。

このことは、本市の英語・国語教育の推進に大いに役立つことと思われる。来春には、江副隆秀校長と関係者が本市を視察したいとの考えをもっておられ、その際小学校の教員に対して「国語指導法について」講演会を希望されている。来春このことが実現するよう今後教育委員会と協議をしていきたい。

以上報告を終わります。